

2015 年 6 月

I. 趣旨及び目的

日本環境感染学会 JHAIS (Japanese Healthcare Associated Infections Surveillance) 委員会では、1998 年より手術部位感染 (Surgical site infection、SSI)サーベイランスを実施している。本文書はその実施に関する詳細を明文化したものである。本サーベイランスは、SSI 防止対策活動の一環として行われ、その趣旨に賛同して参加を希望した医療機関(以下、参加医療機関)の協力を得て実施する。目的は、わが国における SSI の発生状況に関する情報を提供し、感染対策の推進を支援することにある。

II. 実施主体

実施主体は、日本環境感染学会 JHAIS 委員会とする。ただし、その業務の一部を委員会が指定した適切な者に委託することができる。

III. サーベイランスの実施

1. 参加医療機関の募集

JHAIS 委員会は、本サーベイランスへの参加を希望する医療機関を、随時募集する。

2. 医療機関の参加登録・情報変更・脱退

医療機関は参加を希望する際、以下の項目を日本環境感染学会 JHAIS 委員会 jhais-project@umin.ac.jp へメールで送信する。

- ・医療機関名とその住所および代表電話番号
- ・担当者名とその所属部署・電話番号
- ・JHAIS 事務局との連絡の際に用いるメールアドレス

参加登録手続き終了後、委員会担当者より施設 ID が提示される。以後は、施設 ID でデータの管理運用を行う。

参加医療機関は、登録した情報の変更・脱退を希望する際には、速やかに JHAIS 委員会 jhais-project@umin.ac.jp へ連絡する。

3. 実施方法等

1) 提出データ

- (1) 対象とする手術症例の各々に対して、手術日、患者を識別できるコード、年齢、性別、手術日、手術手技分類、手術時間、創分類、ASA スコア、内視鏡使用の有無、緊急・待機手術の別、埋入物の有無、人工肛門造設の有無(結腸、直腸、小腸手術のみ)、SSI 発生の有無
- (2) SSI 発生患者に対して、SSI 発生日、SSI 特定部位、培養検体の種類、分離病原体コード、皮下膿瘍の有無・縫合不全の有無・遺残膿瘍の有無(任意項目)

2) データ収集方法

担当者が各々の施設の状況に応じて作成した SSI サーベイランスシート等に基づいて必要なデータを収集する。

3) データ提出方法

SSI サーベイランス入力支援ソフトウェアである NISDM-SSI、または厚労省院内感染対策サーベイランス(JANIS)SSI 部門にてデータ入力に使用されるソフトウェアのいずれかを用いてデータファイルを作成し、出力する。ただし、これらの 2 つのソフトと全く同じフォーマットのファイルが作成できれば、これらのソフトウェアを使用しなくても構わない。毎年 4~5 月頃、事務局からデータ提出依頼のメールが配信されるので、それに沿ってデータを送信する。

4) 提出頻度

年 1 回

5) 解析評価情報の還元

JHAIS 委員会は、参加医療機関より提出されたデータを集計し、解析評価を加えた情報をして作成し、JHAIS 委員会での承認後、各医療機関へメール送信により還元する(年 1 回)。また、適宜、日本環境感染学会総会、日本環境感染学会ホームページ、その他関連学会や学術雑誌などで公開する。

6) 個人情報および施設情報の保護

本サーベイランスに提出されるデータは、患者を識別できるコードを伴っているが、当該データを提出した参加医療機関のみにおいて患者と連結可能であり、JHAIS 委員会では特定することができない。

本サーベイランスによって得られたデータ及び解析評価情報については、全国の医療機関における SSI 対策を支援する目的以外には使用しない。また、個別の医療機関等の同意を可能とするデータ及び解析評価情報は、当該施設以外へ公開しない。

参加医療機関の名称・特性及び参加サーベイランスの種類名は、参加医療機関の了承を得ることなくこれを公開しない。

IV. 実施要綱の見直し

本サーベイランスは、開始後の運用実績等を踏まえ、JHAIS 委員会において、サーベイランス項目の見直し、追加等の必要な検討を行う。

V. その他

1. 問い合わせ

本サーベイランスに関する問い合わせ等は、jhais-admin@umin.ac.jp 宛に電子メールにて問い合わせる。問い合わせ時には、医療機関の名称、問い合わせ者の氏名を明記する。

付記

1. 2015 年 6 月 15 日作成